

(6)生涯を通じた男女の健康支援の推進

施策名	生涯を通じた健康づくりへの支援
担当課	健康福祉部 健康づくり支援課

1 事業の概要

基本目標	Ⅲ	基本的な課題	7	施策の方向	①	施策番号	1
2月補正予算額(千円)	13,428			決算額(千円)	8,987		
事業の概要・目的	①生涯を通じた健康づくりの促進のため、生活習慣病の予備群・有病者を減少させるための人材育成 ②企業等との連携により学童期の子どもと子どもを取り巻く大人に対して、正しい生活習慣の実践と定着化を図る。 ③健康相談、健康教室を実施するほか、年齢や性別等一人ひとりの違いに応じた保健・医療が受けられるよう、保健医療従事者等研修会を実施し、生涯を通じた健康づくりを推進する。 ④県民一人ひとりが自発的に健康づくりに取り組むよう働きかけるとともに、社会全体が取り組みを支援していく機運を醸成するための普及啓発						
数値目標など							
指標名等	特定健康診査の受診率(市町村国保)						
目標	46%(21年度)	実績	34.8%(21年度)				

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

- ①生活習慣病予防のための特定健診・特定保健指導を効果的に実施するため、当該事業に従事する医療保険者等の保健師、管理栄養士等の専門職等を対象に研修会を8回計383人に実施した。
- ②企業と連携したイベントを実施し、家族ぐるみで健全な生活習慣の実践を働きかけた(4日間:約1750人)。また、研修会や啓発媒体の配付により各市町村において効果的な取り組みが出来るよう支援を行った。
- ③・女性のための健康相談:相談者 514人
 ・男性のこころと身体の健康相談:相談者98人
 ・健康教室: 22回 4,285人参加
 ・保健・医療従事者等研修会: 5回 197人参加
- ④健康づくりに関する県民の意識を高めるため、健康ちば推進県民大会を実施した。 317人参加

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

- 〈反映できている点〉
- ①女性特有の健康課題である骨粗鬆症や高脂血症、男性40歳代の肥満傾向など、男女それぞれの健康上の課題をふまえた上で、ひとりひとりに応じた健康づくりができるよう研修会を実施した。
 - ②男女並びに親子双方に働きかけができるよう土日の開催とした。
 - ③性差の視点に基づき、健康相談や健康教室等事業を実施している。
 - ④男女双方が参加できるように、土曜日の開催とした。
- 〈施策の効果〉
- ①個々人の生活習慣の改善に主眼をおいた、食生活や運動等に関する保健指導技術のスキルが向上した。
 - ②休日の大型スーパーでイベントを開催することにより、男女双方又、家族ぐるみでの健全な生活習慣の実践について普及啓発を図る事が出来た。
 - ③事業を通して参加者には性別等による健康課題が異なることなど、知識を深め、認識が広がっている。
 - ④参加者の健康づくりに関する意識を高めることができた。
- 〈課題・改善すべき点〉
特になし

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

--

4 男女共同参画の視点からの委員意見

本事業は、生涯を通じた健康づくりの促進のため、各種相談事業や研修会等を行っており、充実したものになっています。特に女性を対象とした研修会などは充実していますが、男性を対象とした研修会等も検討してください。

また、各相談事業・研修会等の男女別・年齢別参加人数を把握し、本事業が男性にとっても女性にとっても生涯を通じた健康づくりを支えるものとなるよう検証・推進していただきたい。

今後は、特定健康診査の受診率が、男女ともに目標指標を達成するにはどのような対策が必要か、さらに検討していただきたい。

(6)生涯を通じた男女の健康支援の推進

施策名	総合的な自殺対策の推進
担当課	健康福祉部 健康づくり支援課

1 事業の概要

基本目標	0	基本的な課題	0	施策の方向	0	施策番号	0
2月補正予算額(千円)	278,794			決算額(千円)	244,847		
事業の概要・目的	<p>平成22年において1,450人の県民が自殺された厳しい状況を踏まえて市町村及び民間団体の協力を得て、自殺防止に関する周知、相談支援体制の充実及びかかりつけ医と精神科医の連携の強化等に取り組んだ。また自殺防止の対応についての啓発を図るため、民間アイデアを活用し、委託事業として、知事によるラジオCM、交通広告、県民フォーラムや街頭啓発からなる「ちば心のキャッチボールプロジェクト」事業を展開した。</p> <p>自殺防止対策としての啓発や相談等を実施する市町村等に対して、補助金を交付した。</p>						
指標名等	自殺死亡率 (人口動態統計に基づく人口10万人当りの自殺者数)						
目標	減少を目指します	実績	24年9月以降に判明				



2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

啓発ポスターの駅掲示(市川・船橋・津田沼・千葉・松戸・柏)、交通広告(JR・東武鉄道・千葉都市モノレール・京成電鉄・小湊鐵道・千葉交通・日東交通・千葉中央バス等)ラジオCM(日本放送・TBSラジオ・かずさFM・市川FM・FM浦安・ベイFM)千葉テレビCMキャンペーンの実施46市町村等への補助金の交付

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

〈反映できている点〉
 自殺する方に働き盛りの中高年の男性が多いことから、普及啓発ポスターについては中年の男性を妻が気づかって不眠の有無を訪ねる内容とした。
 対面相談の曜日及び時間設定について就労中の男性も相談できるよう配慮した。
 「ちば心のキャッチボールプロジェクト」事業として、県民フォーラムの開催ラジオCM、交通広告等の啓発活動を行った。
 千葉県臨床心理士会への委託により対面相談室を開設した。
 千葉県医師会への委託運営により一般かかりつけ医へのうつ病等に係る研修を実施した。

〈課題・改善すべき点〉

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

自殺対策については最終的には自殺の危険のある個人に着目して対応する必要があるが、性別及び年齢により一定の特徴がみられることから、今後上記の点を考慮しながら効率的な自殺対策を進めて参りたい。

4 男女共同参画の視点からの委員意見

積極的な自殺防止への広報活動により、本県の自殺者は減少傾向にあるとのことであり、その施策の効果は評価できます。
 男女共同参画の視点からの課題としては、相談事業の相談員に対して、男女の意識の問題等(固定的な性別役割分担意識等)についての理解を深めるように、男女共同参画の視点を踏まえた研修・指導を検討してください。

(6)生涯を通じた男女の健康支援の推進

《第3次千葉県男女共同参画計画》平成23年度施策 評価シート

施策コード

141

施策名	総合的ながん対策の推進
担当課	健康福祉部 健康づくり支援課

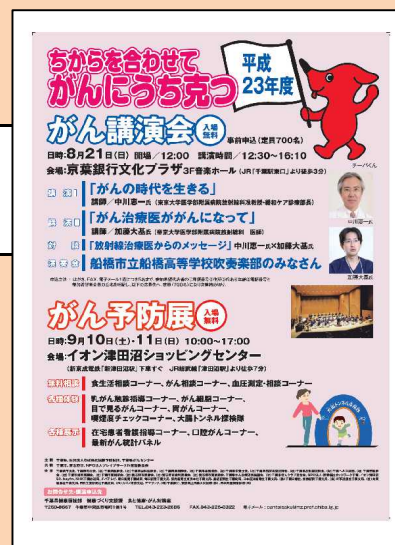
1 事業の概要

基本目標	0	基本的な課題	0	施策の方向	0	施策番号	0
2月補正予算額(千円)	201,179			決算額(千円)	192,097		
事業の概要・目的	がん対策に係る普及啓発を中心に県民、医療・福祉関係者、民間企業、行政が協力しながら、総合的・計画的にがん対策を推進します。						
数値目標など							
指標名等	がん検診の受診率						
目標	増加を目指します	実績	胃がん 女性35.7% 男性44.2% 肺がん 女性41.5% 男性48.9% 大腸がん 女性36.5% 男性37.2% 子宮がん 女性36.9% 乳がん 女性40.6%				

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

がん対策に係る普及啓発を中心に県民、医療・福祉関係者、民間企業、行政が協力しながら、総合的・計画的にがん対策を推進した。 ・がん予防展講演会開催（7,847名来場） ・がん検診推進育成講習会（754名受講） ・乳がん啓発ピンクリボンキャンペーン2回 等



(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

〈反映できている点〉 ①企画段階 普及啓発事業は、基本的に男女双方が参加しやすい土曜日、日曜日の開催としている。また、女性特有のがん（乳がん、子宮がん）にも十分な配慮をして事業を企画している。 ②施策の効果 事業について参加者及び対象者は男女の区別をしておらず、がん対策事業を推進しており、予防や早期発見など男女の別なくがん対策の効果が浸透できた。 〈課題・改善すべき点〉 特になし

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

--

4 男女共同参画の視点からの委員意見

がん検診の受診率には、企業に勤める正規労働者による定期受診が一定の貢献をしていると思われるが、今後は、非正規労働者の増加という状況を踏まえ、どのように受診率を向上させるかの検討を進めてください。 受診率の向上に向けて、男女共同参画の視点からは、受診者の男女別・年齢別・雇用形態別等の分析が必要ですが、いわゆる働き盛りの世代の受診率を向上するための動機づけなどを検討する際にも、このような分析が参考になります。
